

合唱団ホームページアドレス <http://www.wiengifu.org>

音楽とは 横への感性なり!

11 月号

 2018年11月1日
 編集・発行/
 ウィーン岐阜合唱団

 岐阜の街 ^{まち} ウィーン ^{ごと} の如く ^{おどたの} 音楽し 作：音楽総監督 平光 保

夢を追いかけて 夢協演

岐阜本部 ソプラノ 新田ひとみ

枝いっぱい群れ咲く橙黄色のキンモクセイが、甘く芳しい香りを漂わせています。

秋色いよいよ濃くなるころ、サラマンカホールで「第10回夢のプロオーケストラとの協演」が開催されました。

これは、ピアノや声楽を学ぶ人達に、プロのオーケストラと演奏する機会を作って、日ごろの練習の励みにしてほしいという、平光先生の願いが形になった演奏会です。

ブルグミュラー部門・声楽部門・指揮部門・協奏曲部門があり、小学2年生から熟年の大人まで、県内外の計27人が、憧れの舞台上で夢の協演をしました。

温かい拍手を送ってくださった来場者の皆様と、お世話をいただいた役員の方々、本当にありがとうございました。

取り分けブルグミュラーのピアノ曲は、小さな子どもでも挑戦できるようにと、オーケストラ用に編曲され、練習用CDも作成されたという、まさに平光先生の熱意の結晶です。

出演した子ども達は、何も臆することなく誇らしいほどの、堂々とした演奏ぶりでした。

幼いころから本物の音楽を体に宿し、しなやかな感性がはぐくまれる貴重な体験です。

これが未来を担う子らによって裾野を広げ、クラシックの発展に繋がっていくことでしょう。

専門的な教育を受けた人でも、オーケストラと協演の機会を得られるのは、ほんのわずか。

ましてや、私達熟年者にとっては一生の宝。まさに奇跡の世界です。

今年も夢の舞台に立てる幸せをかみしめつつ、中央に自分がいる大それた事実は、身も縮むほどの緊張感をもたらします。

冷静さが遠のくなか、左の肩に平光先生の穏やかな視線を感じ、右の頬には和子先生の柔らかい微笑みが届きます。

その平静さは魔法のように私を包み、不思議な力呼び起こします。

愛は永遠と信じた蝶々夫人の可憐さを、声の音色にのせて表現したい思いがありました。

皆様の心に少しでも響いたのならば、迷走していた練習が報われます。

プッチーニの難しい曲を歌いきる自信を見失うときも、熱心にご指導をいただいた両先生には、この上のない感謝の気持ちです。

ソロとして観客の前に立つことは、歌声のみならず、人の生き様さえさらけ出すほどの覚悟がいります。

未熟さで震えながらも、あるがままの自分をひたむきに表現することが、見る人聴く人の心に染み入り、感動を共有できるのだと思います。

「音楽とは人生そのもの 舞台に立った瞬間から、あなたの人生観が現れる」と言われる平光先生の言葉が胸に浮かびます。

その真髄は合唱でも同じではないでしょうか。個の集まりが合唱であるがゆえ、ともすれば自分の個性を閉じ込めることが、まわりと揃えることかと、追い詰められそうになります。

しかし、一人一人の持ち味である個性と個声が混ざり合って、厚みも幅も奥行きも感じられる、深い演奏を成すのだと思います。

人生を醸し出す表現力や、魂を注ぐ歌声を磨き、第九演奏会に向かって、皆様とともにハーモニーを楽しんでいきたいと思っています。

歡喜に寄せて 愛と平和のメッセージを高らかに歌いましょう。

「夢のプロオーケストラとの協演」に出演させていただいて

9 回リトアニア音楽友好の旅参加・名古屋モーツァルト協会 幹事 竹内 精司



(サラマンカホールにて独奏する筆者)

本年9月24日(日祝)、岐阜市サラマンカホールにて行われました<第10回・夢のプロオーケストラとの協演>のピアノ協奏曲部門で、モーツァルト作曲ピアノ協奏曲第24番ハ短調(第一楽章)を演奏させていただきました。まずもってこのような素晴らしい企画が毎年実行されているのは、平光保先生の音楽普及に対する並々な情熱と、ウィーン岐阜合唱団の役員皆様のご尽力の賜物であることを知り、心より敬意と感謝申し上げます。

この曲は27曲あるモーツァルトのピアノ協奏曲のうち、私がかつとも好きな曲であり、また最高傑作のひとつではないかと思っています。リハーサルではオケとうまく合わせられず、無謀にもこのような大作を選んだことを後悔していました。しかし幸い楽屋で皆様から暖かいお励ましをいただき、本番ではなんとか最後まで弾くことができました。打ち上げ懇親会の席で、先生から『なかなか味がある演奏だった』『素人でよくあそこまで弾けたなあ』と過分なお褒めのお言葉を頂き、やはりこの大曲に挑戦してよかったと思いました。

そもそも私は専門的な音楽教育を受けたこともない一介の素人で、本職は開業歯科医師ですが、実はピアノを弾くことが大好きです。患者さんの診療が終わって疲れて帰宅しても、食事をした後、少しでもピアノを触らないと落ち着かないほどです。実はピアノとの出会いは、私が高校生のときです。当時まだ男子生徒がピアノを弾く風潮がなく、同級生からは『男のくせにピアノなんか習っているのか』とからかわれたのですが、そんなことは全く気になりませんでした。その後、歯科医師になるため東京の大学に進み、大学院と歯科大学病院の教職勤務、さらには、開業歯科医

師として追われる毎日のため、ピアノはたまに触る程度できちんとレッスンを受けたことはありませんでした。

へたなヨコ好きの典型的の私にとって、30歳代のある日に平光先生と運命的とも言える出会いがあり、ご好意でレッスンをしていただくようになりました。ただ診療や学会や雑事に追われる生活のため、一年位でなんとなくレッスンから遠ざかってしまい、その後30年以上のブランクが続きました。しかし、私の属している名古屋モーツァルト協会で、ご子息の平光真彌氏が主宰されているココット弦楽四重奏団に演奏を依頼したことがきっかけとなり、再び先生との交際が始まりました。そしてウィーン岐阜合唱団の方々とも交流させて頂くようになり、本年5月にはリトアニア・ポーランド音楽友好旅行にも同行させていただきました。

実は先生とは同年齢ですので、そのヨシミから昨年のある日、蛮勇を奮って「夢のプロオーケストラとの協演」のピアノ協奏曲部門の出演を打診したのです。曲目は上記のモーツァルトのピアノ協奏曲です。本人は盲(めくら)蛇に怖じずの心境ですが、プロでも難しい選曲に、先生もきっと返事に困られたのではないのでしょうか。

それで早速再びレッスンが始まりましたが、その主眼は、<いかに脱力して弾くか>でした。初めは頭で理解しても身体と指が伴いませんでした。診療生活の合間に、約一年かけてこの難曲に取り組み、演奏困難な最後の分散和音のところは一部先生に弾きやすく改作していただきました。幸い聴きにきてくださった方々から、『モーツァルトが大好きだということが伝わってきて、良い曲を選ばれたなと思って聴いておりました』『堂々と立派でした。モーツァルトの天才を余す所なく見事に弾ききっておられ感動しました。遠路伺った甲斐がありました』などの暖かい言葉をいただきました。

サラマンカホールという素晴らしい演奏会場で、しかも<プロのオーケストラと協演>などと言う貴重な体験をさせて頂き、私の音楽人生の最高の思い出になりました。残る人生、音楽をより深く理解し、皆様と共に分かち合いたいと思っていますので、ご交誼のほどよろしくお願いいたします。

(平成30年10月30日記)

「この一年を振り返って」

ピアノ伴奏 卯野 杏実先生のご寄稿です

いつもお世話になっております、ピアノの卯野杏実です。こういった真面目な原稿を書くのは、初めて？なのでドキドキしますが、思ったことをつらつらと書いていきたいと思えます。

もう今年もあと数ヶ月となりましたが、私が皆さんと出会ってからは、もうすぐ1年経つかと思います。「ウィーン岐阜合唱団」という名前はもう何年も前から知っていましたが、まさか自分が伴奏させて頂くことになるなんて、不思議なご縁だなと思います。さらに遡ると、私が小学6年生の時、当時通っていた小学校に、平光先生率いるウィーン岐阜管弦楽団の方々が訪問してくださり、そこで共演させて頂いたことがあります。その時のことは、今も鮮明に思い出せますし、そこから今に繋がっていると思うと感慨深いです。

合唱団と名のつくところの伴奏をさせて頂くのは初めてだったので、最初の頃はとても緊張しましたが、皆さん生き生きと歌っていらっやあって、練習会場がとても良い雰囲気です緊張がほぐれたのを覚えています。それから、主な曲で言うと、杉原千畝のオペラ 人道の桜、ぞうれっしゃ、そして現在の第九と、皆さん

とご一緒させて頂いてきましたが、練習中私自身勉強になることがたくさんありますし、4声部のハーモニーが綺麗に合わさった時、アンサンブルっていいなあと思えます。そして、ピアノの練習は時に孤独との戦いでもあります、大勢で音楽をやるのはとても楽しく、いい時間だなと思えます(笑)

ピアノと歌というのは、似ているところもたくさんあると思っています。先生方が普段からおっしゃっている、“お腹でしっかり支えて、肩甲骨を開いて、脱力して”などなど…。ピアノもただ指で弾くだけでなく、身体から音楽を感じて、身体の色々なところを上手い具合に使って演奏するのがとても大事だと思っています。皆さんの歌がこれからもどんどん高みに昇っていくのが楽しみだなと思えます。

最後になりますが、21年目を迎えたウィーン岐阜合唱団。ここまで続けてこられたのは、平光先生始め、伴先生、真由子先生、ピアニストの方々、そして合唱団の皆さんが音楽を愛してこられたからだと思います。これからも末永く続いていくことを私も願っています。どうぞ、今後ともよろしくお願い致します！！

卯野杏実先生プロフィール

岐阜県各務原市出身。4歳よりピアノを始める。名古屋市市立菊里高等学校を経て、愛知県立芸術大学音楽学部卒業。第23回日本クラシック音楽コンクール全国大会ピアノ部門一般女子の部第3位(最高位)他数々のコンクールにて優秀な成績を修める。ウィーンマスターコース、ポーランド国立シヨパン音楽大学夏期セミナーを受講しディプロマを取得、修了コンサートに出演。2016年岐阜にてピアノリサイタル開催し好評を博す。現在、東海地区を中心にソロや室内楽、伴奏者等様々な演奏活動をしながら後進の指導に当たっている。陶都楽友協会会員、名古屋音楽学校講師。

詩に興り、礼に立ち、楽に成る

(孔子)

人間は、詩によって知性がひらき、善の心がふるいたち、礼によって人として基本を作り安定し、音楽によって心が高まり、完成する。



右の絵手紙は合唱団 坪内浄嘉さん作 ⇒

11~1月練習予定

月日	岐阜	月日	大垣
11月 1日(木)	長森コミュニティセンター	11月 2日(金)	大垣市南地区センター
11月 8日(木)	北部コミュニティセンター	11月 9日(金)	大垣市青年の家(変更)
11月 15日(木)	北部コミュニティセンター	11月 16日(金)	大垣市南地区センター
11月 22日(木)	長森コミュニティセンター	11月 23日(祭)	大垣市南地区センター
11月 29日(木)	長森コミュニティセンター	11月 30日(金)	大垣市南地区センター
12月 6日(木)	長森コミュニティセンター	12月 7日(金)	大垣市南地区センター
12月 9日(日)	岐阜・大垣強化練習 長森コミュニティセンター14:00~17:00		
12月 13日(木)	長森コミュニティセンター	12月 14日(金)	大垣市南地区センター
12月 20日(木)	岐阜・大垣合同練習 大垣北地区センター18:30~20:00【オケ合わせ】		
12月 23日(日)	岐阜・大垣強化練習 長森コミュニティセンター 14:00~17:00		
12月 24日(祭)	“第九”演奏会 本番 長良川国際会議場メイン会場 14:00 開場~		
1月 10日(木)	長森コミュニティセンター	1月 11日(金)	大垣市南地区センター
1月 17日(木)	長森コミュニティセンター	1月 18日(金)	大垣市南地区センター
1月 24日(木)	岐阜・大垣合同練習 長森コミュニティセンター18:45~20:45		
1月 31日(木)	長森コミュニティセンター	2月 1日(金)	大垣市南地区センター

秋風と友に

台風一過。どこまでも青く、気持ちの良い空です。裏庭で鳴くコオロギの音が、細く寂しく聞こえるのは私だけでしょうか。今年の秋はいつになく寂しいです。

夫が逝って15日目、もろもろの手続きも半分ほど終え、さらに胸を締め付けます。4年と6カ月の闘病の末、最期まで頑張って旅立った夫。苦しい息の中、帰宅する私に「キョツケテね」と小さな声で、自分の身よりも私を案じてくれる夫。いまだに夫の死が信じられず、そっと部屋を見に行くことがしばしば。遺影が静かに微笑んでいます。

朝が来て、昼が来て、夜がくる。そんな当たり前のことが頭を回っています。風の音が私を呼ぶ夫の声に聞こえ、何もしたくない日々が続きました。思えば50数年前、ふと知り合った二人が夫婦となり、3人の子宝に恵まれ、時に笑い、時に悩み、過ごした年月は尊いものでした。長い入院生活での二人の時間も、健康であれば知らなかった夫の一面を知り、貴重な時間でした。大勢の友人、知人の皆様に温かく見送られて、夫は幸せでした。

また、いつか夫と旅行する日を夢見ながら、私は暮らします。

「秋風が私の心を知るように、か細い虫の音を運んでくれます。」 豊川市在住 75歳

発表会のご案内

伴 真由子先生の個人レッスンを受けている方の発表会が、下記の通りあります。

ウィーン岐阜合唱団の団員13名、その他4名が日頃の練習の成果を、ソロやデュエット・カルテットなどで発表します。是非、皆様の温かい拍手で応援をお願いいたします。

尚、当日真由子先生の歌もあります。お楽しみに！！

記

●日時:12月2日(日)13:30 開演 (13:15 開場)

●場所:大垣シューベルトホール

大垣市安井町3-28 TEL (0584) 82-6575

《編集部からのお願い》

ウィーン岐阜合唱団ニュースは、皆さんへのコミュニティの架け橋です。貴方の身近な情報・近況など何でもかまいません。ご投稿の協力をお願いいたします。

編集部員がご寄稿のお願いに行きますので、ご助力お願いいたします。

連絡先: TEL 058-231-4700 / FAX 058-231-4721
 E-mail: printshiraki@yahoo.co.jp